

大阪大学 SPring-8 利用促進シンポジウム

日時 2010年11月8日(月曜日) 10時開催

場所 大阪大学基礎工学研究科 G棟5階507-513号室

プログラム

1. 10:00-10:15 はじめに 15分 阪大 菅滋正
2. 代表的ビームラインの紹介と研究例 第一部 X線
10:15-10:45 SPring-8回折ビームラインを活用した精密構造科学の展開
理研 加藤健一
10:45-11:15 硬X線MCDによる磁性研究:BL39XUの性能と将来計画
JASRI 鈴木基寛
11:15-11:45 硬X線XAFS計測法と応用研究例
JASRI 宇留賀朋哉
11:45-12:15 物質構造変化の瞬間をとらえる放射光時間分解X線回折法
理研 田中義人
3. 12:15-13:15 昼食
4. 代表的ビームラインの紹介と研究例 第二部 軟X線・赤外
13:15-13:45 軟X線固体分光法の紹介 ～光電子分光を中心に～
JASRI 室隆桂之
13:45-15:15 新しい材料分析法を指向した、軟X線吸収分光法の応用
JASRI 為則雄祐
15:15-15:45 赤外放射光の特徴の利用
JASRI 池本夕佳
5. 15:45-16:05 休憩
6. ユーザーサイドからの実験体験等
16:05-16:20 軟X線固体光電子分光を行ってみて(BL25SU, BL27SU)

阪大 関山明

16:20-16:35 半導体薄膜結晶開発-X線マイクロ回折で明らかになった事

阪大 酒井朗

6. 16:35—17:05 2011A 利用研究課題の募集について

JASRI 宇留賀朋哉

7. 17:05—17:35 総合討論：共同研究の検討ならびに全体的な質疑応答

8. 17:35—17:50 まとめ 阪大 多田博一

連絡先 大阪大学大学院基礎工学研究科

多田博一 tada@mp.es.osaka-u.ac.jp

関山明 sekiyama@mp.es.osaka-u.ac.jp

菅滋正 ssmsuga@gmail.com

趣旨：

SPring-8 が共用実験に公開されて 12 年が経過した。この間ビームラインの充実が進み硬 X 線、軟 X 線、赤外等で世界的にインパクトのある実験が可能になってきた。大阪大学の多くの研究者はこれまでも SPring-8 放射光を用いた実験を推進してきたが、今後、更なる複合先端研究や新規利用者の開拓による底辺の拡大などが期待されている。

このような方向に向けて、SPring-8 の代表的なビームラインの性能、遂行可能な物理、化学、生物学、工学等の実験テーマやその概略、利用者から見たビームラインの性能や新しい方向性を含めて、新規参入予定者にも有用な情報の交換を行う目的で、上記シンポジウムを企画した。

なお高輝度光科学研究センターのビームラインの使用申し込み手続きについても分かりやすく説明を いただく。
